2026/3/11

株式会社 松　屋　2026年2月売上報告

1. 店舗別　売上高概況

（単位：%）

		売上高	入店客数
①	銀座本店	2.7	−4.2
②	銀座店	3.1	−7.5
③	浅草店	−4.7	2.8

① 銀座本店　：「銀座本店」の数値は「銀座店」と「浅草店」両店計の売上高対前年増減率を表記いたしております。
② 銀座店　：「銀座店」のみの売上高対前年増減率を表記いたしております。
③ 浅草店　：「浅草店」のみの売上高対前年増減率を表記いたしております。

2. 売上高対前年増減率推移

（単位：%）

	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月
銀座本店	−9.1	−18.2	−22.1	−24.0	−25.7	8.0	2.4	−7.4	−2.2	−10.8	−15.8	2.7
松屋銀座	−8.3	−18.4	−22.6	−24.9	−26.3	8.5	2.2	−7.6	−1.2	−10.1	−16.3	3.1
松屋浅草	−15.3	−12.0	−11.1	−6.3	−9.8	−3.4	4.7	0.0	−22.7	−20.1	−2.8	−4.7

3. 店舗別商況

銀座店	2月の銀座本店の売上高は、前年に対して約3%増となりました。免税売上高においては、主として、日本への渡航自粛要請が要因となり中国からのお客様が減少、また、2月中旬の春節（前年の会期は、2025/1/28～2/4）の売上高も前年と比べ約41%減（その客数も25%程度減）となる等、全体では約20%減となりました。しかしながら、台湾・韓国・タイをはじめとした他の国からのお客様については、円安の影響も受け売上を堅調に伸ばして下支えしています。一方、免税売上高を除く国内のお客様の売上高につきましては、ラグジュアリーブランドや宝飾等が好調に推移したことで、前年に対して約24%増となりました。今後も、引き続き、幅広い国々からのお客様への対応に注力しながら、基盤となる国内客への来店促進策含めた各種施策による売上拡大が重要となります。

4. 商品別売上高対前年増減率

（単位：%）

	銀座本店	松屋銀座
紳士服・洋品	15.3	13.3
婦人服・洋品	6.7	6.7
子供服・洋品	−8.7	−8.7
呉服寝具他	7.3	−7.1
衣料品計	6.8	6.2
身廻り品	−18.6	−18.7
雑貨	−1.8	−0.6
家具	−55.2	−55.2
家電	215.1	215.1
家庭用品	0.9	0.8
家庭用品計	−29.0	−29.0
食料品	−2.4	−1.9
食堂・喫茶	−1.4	−1.4
サービス、その他	123.5	125.1
合計	2.7	3.1

※「2026年3月売上速報」は、4/1（水）16時の開示を予定しております。

お問い合せ先　株式会社 松　屋　コーポレートコミュニケーション課
Mobile : 070-4547-7555